

第1回東京都地方独立行政法人評価委員会 議事要旨

- 1 日時 平成18年5月11日(木)午前11時15分～正午
- 2 場所 第一本庁舎42階北側 特別会議室C
- 3 出席委員 原島委員長、泉澤委員、板生委員、井上委員、菅野委員、
鞠谷委員、柴崎委員、米本委員、和田委員
(委員長を除き、五十音順)
- 4 議題
 - (1) 審議事項
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの中期計画について
 - (2) 報告事項
平成18年度 公立大学法人首都大学東京入学試験実施結果
 - (3) その他
- 5 議事概要
 - (1) 審議事項
事務局から、資料3「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター中期目標と中期計画(案)対比表」により中期計画の内容について説明
 - ・中期目標に掲げる各事項における具体的な内容
 - ・短期借入金の限度額など、具体的な数値
 - ・中期計画の期間5年分の予算審議の後、当該中期計画(案)を委員会として承認した。

【審議要旨】

- ・9ページの「施設及び設備の整備と活用」の項目について、中期目標においては「適正かつ有効な活用」とあるが、中期計画ではどのように考えるのか？
今後5年間で施設・設備の整備を計画的に実施していくとしている。具体的には、運営費交付金の中で施設設備関係の費用が盛り込まれているので、適宜改修あるいは新たな設備の設置を手がけていくこととなる。
また、新たな再編整備として、区部拠点については、平成23年度に、多摩については、平成21年度に新たな施設を開設していく考えである。この件については、別途基本計画をつくる予定である。
- ・職員に対する業績評価について、公平性や公正性といったことが確保された仕組みになっているのか？
業績評価制度については、苦情処理制度をあわせて設置した。
具体的な流れとしては、合議制で評価を1次、2次としていき、それを本人に開示する。不服がある場合には、(苦情処理)委員会へ持ち込んで処理するという制度での運営を予定している。

- ・産学公連携の推進ということで、首都大学東京や産業技術大学院大学との連携強化をあげているが、中期計画に書かれていること以外に何かあるのか？

既にいくつか進めているが、すぐに実施するものとしては、大学院大学においての OPI (オープン・インスティテュート) というもので、講座でない、別のニーズに応じたものを行う。実質的には、職員を派遣して実施していくことになると考えている。

- ・東京の特徴を生かした試験研究機関らしさ、そのようなものをもっと出せないのか？

東京都の中小企業は非常に多種多様であるため、取り扱う分野を特定化することは、なかなか難しいところがある。しかし、中期計画において重点技術分野^(注)を7つ定めたところであり、産業支援機関としての役割を踏まえつつ、今後の技術動向や産業界のニーズ等を踏まえて、重点化すべきところは重点化していきたいと考えている。

(注) 中期計画において定めた重点技術分野

ナノテクノロジー、 IT、 エレクトロニクス、 システムデザイン
環境、 少子高齢・福祉、 バイオテクノロジー

(2) 報告事項

事務局から、資料4により公立大学法人首都大学東京の入学試験結果について報告

【質疑応答】

- ・産業技術大学院大学の志願者・受験者数が少ないのは、できて間もないということで、PR等が不足していたためなのか？

確かに、PR不足は否めないと思う。今年度については、早めにPRしていき、産業界にも広く呼びかけ、優秀な学生を集めていきたい。

(3) その他

事務局より、今後のスケジュールについて説明

- ・公立大学法人首都大学東京の平成17年度における業務実績の評価については、8月28日に行う予定